

硯海

強く 未来へ あす

INDEX

会長挨拶／定時総会・4月例会……………	2
例会レポート……………	3
県青連事業／日本YEG事業／行事活動レポート…	4
行事活動レポート／前期新入会員紹介……………	5
委員会紹介……………	6

発行

下関商工会議所青年部

〒750-0006 下関市南部町21-19 TEL083-222-3333 ●《URL》<http://www.yeg-shimonoseki.com/> ●《E-mail》yeg@shimonoseki.cci.or.jp



令和3年度
下関商工会議所青年部
第42代会長 高山 徹

【会長挨拶】 半年を振り返って

令和3年度がスタートし、早いものでもう半年が過ぎました。昨年から続く新型コロナウイルスの影響を受けながら、どのように活動し、どのように会を運営して行けばよいのか、内心不安を抱えたままスタートいたしました。今年度も私たちのメイン事業でもある5月の「しものせき海峡まつり・源平まつり」の通常開催は見送られ、9月の県青連親睦ソフトボール大会下関大会も苦渋の決断で中止となりました。例会や委員会活動においても延期や自粛、リモートへの切り替えなど、多くの制限がかけられた中での活動になりました。

しかし、そんな状況の中でも、理事を中心に全メンバーが力を合わせ、自分たちには何ができるのか、どうすればできるのかを最大限に考え、活動しております。それぞれの社業も大変な中、心折れず何度でもチャレンジしてくれるメンバーと活動できることを誇りに思います。そして、このようなメンバーに心より感謝いたします。

強く 未来へ あす

これから多くの壁の前で、判断に迷うこともあると思います。もっとも、こんな時だからこそできることがあると信じて、一歩ずつ「強く未来へ」進み、青年経済人として自己研鑽を重ね、ふるさと下関の発展のために元気よく、そして楽しんで笑顔で活動してまいります。

結びになりますが、関係者の皆様には平素より下関商工会議所青年部の活動へのご理解とご協力を頂き、心より感謝申し上げます。今後とも引き続き皆様の温かいご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和3年度定時総会・4月例会



4月8日(月)春帆楼において、令和3年度定時総会・4月例会を開催いたしました。

まず令和2年度 優秀会員3名・優秀新人3名を表彰し、さらに会長賞として3委員会が選ばれました。その後、本会主旨の議案審議が行われました。

- 第1号議案 令和2年度事業報告(案)並びに収支決算(案)について
- 第2号議案 令和3年度役員(案)について
- 第3号議案 令和3年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

いずれの議案も満場一致で承認され、高山徹新会長のもと新体制がスタートいたしました。

引き続き開催された4月例会では、令和2年度の卒会者を紹介し感謝状を贈呈しました。

また、新しく仲間に加わった令和3年度前期新入会員3名が紹介され、高山会長より会員バッジが手渡されました。

例年はこの後に懇親会を開催するのですが、新型コロナウイルス感染防止のため、前年度に引き続き、本年度も懇親会の開催を見送りました。

最後に高山会長のスローガンのもと、コロナ禍ですが、我々下関YEGがこんな時だからこそチャレンジして前を向いて活動していくことを誓い合いました。



5

月例会



5月10日(月)、Zoomにより5月例会を開催いたしました。

新型コロナウイルス感染防止のために当初予定していた例会を延期して、セレモニーのみのZoom開催となり、延期した例会は6月に開催となりました。

5月当時は、全国的にイベントの中止や縮小開催、または延期を余儀なくされている中、下関YEG

では、リアルでの例会及びセレモニー開催が難しいためにITを活用した交流方法を模索し、Zoomを活用し画面を通して行うセレモニーを開催しました。今後、普段通り会員がリアルで集まって活動ができる事を願うばかりですが、Zoom開催を通して、久しぶりに会員達が互いの顔を見て、少し安堵したセレモニーとなりました。

6月8日(火)、Zoomにより6月例会を開催いたしました。

まず、令和3年度前期新入会員による3分間スピーチが行われました。大勢のメンバーが画面越しに見守る中、緊張した面持ちではありましたが、各新入会員の人柄や仕事内容がよく伝わるスピーチでした。

その後、地域活性化委員会による「エゴグラム～現在の自分を知ろう～」が行われました。

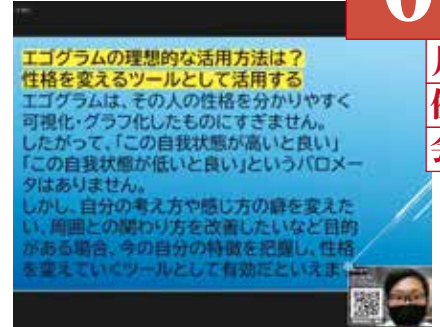
まず、地域活性化委員会の藤村委員長から「エゴグラム」の説明があり、その後、各委員会のメンバーに分かれ、実際にエゴグラムの質問表に答えて自己の性格分析を行いました。

令和3年度前期新入会員3分間スピーチ 担当 会員研修委員会 エゴグラム～現在の自分を知ろう～ 担当 地域活性化委員会

質問に答えることで、それが数値化されてグラフが作成されます。そして、このグラフをモデルグラフと比べて近いものを選ぶと、モデルグラフに基づく心の働き方の説明があるというものでした。

ある委員会では、よく当たっているという意見が多く、またメンバー全員が協調性の数値が高かったことで、今年1年を全員で協力して事業を成功させていくというモチベーションの向上に繋がりました。

本例会を通じて、自己を分析し、またメンバー間で共有できたことで、今後のYEG活動が円滑に行われる足掛かりとなる貴重な機会となりました。



6

月例会

7

月例会

叱りの達人～叱るとは使命感の愛～



7月8日(木)、Zoomにより7月例会を開催いたしました。

本例会は、パワハラ防止対策が法制化となる中、組織内での正しい「叱り方」を身につけ、YEG内及び自社でのコミュニケーション力の向上を図ることを目的としました。

また、叱りの達人協会の河村晴美様を講師としてお招きしました。

まず、メンバーは会員交流委員会が作成した「間違っただけ」に関する映像を視聴した

担当 会員交流委員会

上で、「何が間違っているのか」についてグループディスカッションをしました。その後、河村様の講義があり、この講義に基づき、メンバーは改めてグループに分かれて正しい叱り方を実践しました。

本例会の例会趣旨にあるように、間違っただけから正しい叱り方を身に付けることができ、今後の様々な活動に活かせることができる例会となりました。

あなたの知らないクラウドファンディングの世界

本来であれば 8 月例会は経営委員会企画での開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、延期となりました。

担当 経営委員会

月例会

8

9

月例会

「会員手帳には載っていないこと」～教えてください!あなたの仕事の目標は?～



9月8日(水)、Zoomにより9月例会が開催されました。

新型コロナウイルスの蔓延防止のため、現在は海峡まつりに代表される各事業や懇親会等の会員が集まる機会が無く、会員同士の交流が出来ていない状況にあります。そこで、本例会は、会員を知り、親睦を深めるきっかけ作りとして開催されました。

Zoomのブレイクアウトルームで6名程度の

担当 総務委員会

グループに別れ、各ルーム内で会員自身や所属する会社の紹介、会社の目標を話しました。そして、ルーム内の話し合いの結果を、各ルームの代表者1名がまとめ、このまとめを全体に発表しました。

新入会員や今まで接点の少なかった会員との話は新鮮であり、また既知の会員についても近況や改めて知れたこともあり、様々な気付きのある例会でした。

山口県商工会議所青年部連合会事業

第1回会長会議・通常総会

4月17日(土)、柳井小学校体育館にて、山口県商工会議所青年部連合会第1回会長会議・通常総会が開催されました。下関YEGからは、高山会長をはじめ4名が参加しました。

会長会議では、令和2年度の事業報告・収支決算や令和3年度の事業計画・収支予算が承認され、県青連年間スケジュールなどが協議されました。また各単会の活動状況報告等もあり、情報交換の場となりました。

また、通常総会では令和3年度役員及び令和3年度事業計画が承認されました。特に、下関YEGとしてはソフトボール大会の引き受けが承認されました。

なお、新型コロナウイルス感染防止のため、会員アワーと大懇親会は中止となりました。



第2回会長会議・第35回会員大会

6月26日(土)、山陽小野田市立中央図書館にて、山口県商工会議所青年部連合会第2回会長会議、第35回会員大会山陽大会が開催されました。現地参加・オンライン参加のハイブリッド開催となり、下関YEGからは高山会長をはじめ10名で参加しました。

特別分科会「コロナ禍における強いリーダーシップ像」では、令和2年度中国ブロックYEG会長を務められた湯村大介氏を講師として招き、YEGそして自社についての講演をしていただきました。中国ブロックYEG会長時代の苦労や、観光業をされている自社のコロナ禍における対策等を話していただき、大変勉強になる講演となりました。

また湯村大介氏の講演の後にはパネルディスカッションが行われ、青松会員研修委員長がコーディネーターを務めました。



第3回会長会議

8月21日(土)、長門YEGにて、令和3年度山口県商工会議所青年部連合会第3回会長会議が開催されました。本会議は完全オンライン開催となり、Zoomによる参加となりました。下関YEGからは中尾副会長をはじめ4名が参加いたしました。

残念ながら後日、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、会長会議では下関YEGの引き受け事業である「第32回山口県商工会議所青年部連合会親睦ソフトボール大会下関大会」の事業計画報告をいたしました。

また、このコロナ禍において各単会がどのように工夫して事業を計画実施しているのかについて、情報交換を行いました。



日本YEG事業

第38回中国ブロック大会 倉吉大会

5月21日(土)、鳥取県倉吉市にて、倉吉YEG主管のもと、日本商工会議所青年部第38回中国ブロック大会倉吉大会が開催されました。

Zoom参加のみの開催となり、下関YEGからは高山会長をはじめ3名が参加しました。

式典の後、各人は分科会に参加しました。また、分科会については、開催から1ヵ月の間動画配信され、時間の空いているときに8個全ての分科会を視聴することができ、大変参考になりました。

全国会長会議

4月23日(金)、東京會館及びZoomのハイブリッド形式により、令和3年度全国会長会議が開催されました。下関YEGからは、高山会長と青松会員研修委員長の2名がZoomで参加しました。

第1部では「How to use the manual FOR ALL YEG」と題しまして、単会会長が使いたくなる7つ道具のご紹介や、令和3年度の日本YEGの活動内容の説明がありました。第2部では各部屋に分かれてグループディスカッションを行いました。

他単会の課題や実績などを聞けるよい機会となりました。

行事活動レポート

渋沢栄一プロジェクト『おかねってなあに?』寄贈

5月19日(火)、下関市役所にて、日本商工会議所青年部が渋沢栄一プロジェクトと題して制作した絵本『おかねってなあに?』35冊を下関市教育委員会に寄贈する贈呈式が行われました。

この絵本は、商工会議所の生みの親である渋沢栄一翁が2024年に発行される新1万円札の肖像に選定されたことから、全国の子供たちにお金の大切さを学んでもらうために企画・製作されたものです。



高山会長より絵本寄贈の経緯と趣旨を説明し、市長・教育長より謝辞をいただきました。

YEGの活動が未来を担う子供達の教育の一助となる事を嬉しく思います。今後も地域の未来に繋がる活動を継続して行きたいと思っています。

今後は図書館や教育施設に配架されますので、図書館等で見かけたらぜひ読んでみてください。



しものせき海峡まつり源平まつり代替イベント

下関YEGが主催の源平まつりは、昨年度に続き新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

源平まつりも含まれるしものせき海峡まつりの実行委員会で市や協力団体など多くの方々と話合いを重ね、リアルで「人が集まる・人を集める」イベントは困難との判断に到ったものの、「コロナ終息後に開催されるしものせき海峡まつりを楽しみにしてもらえよう映像を制作・配信する。」という方向で、しものせき海峡まつりの実行委員長が下関YEGの会長であることから下関YEGが中心となり代替イベントを実施しました。

しものせき海峡まつりを構成する各団体及び協力者からも協力をいただき、『めぐる、海峡。感じるまつり。～つなぐ、しものせき海峡まつり～』という映像を制作し、6月には毎週土曜20時から30分番組として、J:COMで下関・北九州の約34万世帯に向け放送しました。

この映像は現在でも下関市観光ホームページ「楽しむ!」でご覧いただくことができます。なお、昨年度のまつり中止を受け、リベンジと異例の2年連続で実行委員長と副実行委員長を務めたメンバーも出演しています。

また、非公開として行われた5月3日の赤間神宮での上臈参拝の神事も配信を即日行い、こちらも現在も下関市観光ホームページ「楽しむ!」で閲覧できます。

そして、映像制作・配信の他にも4月下旬からGWにかけて、シーモール1Fコンコースにおいて写真パネルや甲冑などの衣装展示を、下関駅・新下関駅・カモンワーフでは甲冑展示を行いました。

道行く方々も足を止めて見られている方も多く、少しでもまつりの雰囲気を出し、感じていただけたなら嬉しく思います。



源平まつり実行委員長
岡本 孝之



<https://shimonoseki.travel/>

新入会員紹介



伊藤 賢三
(株)ACDI

初めまして、株式会社ACDI代表取締役の伊藤賢三と申します。

今年で42歳になります。出身は下関です。

下関西高を卒業後、山口大学医学部に入学し、医師となりました。専門は放射線科と言い、レントゲンやCTなどの画像を診断する仕事をしております。

会社では医療機関で撮像した画像をネット経由で配信していただき、診断する業務をしています。

下関商工会議所青年部の活動を頑張りますので、何卒よろしくお願いいたします。



高木 大
(株)エミマス

皆さん初めまして(株)エミマスの高木大です。H3年生まれで、今年30歳になります。

生まれは下関市で、趣味はゴルフと最近は船釣りにハマっています。ゴルフのスコアは100～120を行ったり来たりしている状況です。釣りに関しては、タイラバ、泳がせ、ジギングをしています。

また、小学校低学年から高校を卒業するまで、サッカーをしていましたので、体を動かすことは好きですので、初めてやることでもお誘いがあればチャレンジしていこうと思っていますので、よろしくお願いします。



福田 秀幸
(株)コミュニティエフエム下関

前期新入会員の福田秀幸と申します。

入会当初からコロナ禍で、直接お会いする機会が無い中、委員長、副委員長、室長のアイデアとお力添えて、会員の皆様と交流する機会をたくさんいただきました。

また、同期メンバーの方々が心強くまだ数か月間ですが、楽しく活動させていただいております。

これからYEG活動を通して、自分の成長に繋げ、下関の地域活性化に貢献できるよう努めますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

委員会紹介

総務委員会

総務委員会は、4月開催の定時総会の運営、12月開催の臨時総会の運営、会員手帳の作成、会員名札の作成、理事会会場準備、理事会議事録の作成、専務理事業務の補佐、業務マニュアル等データの整理管理などを行っています。

このように、総務委員会は、下関YEG全体が円滑に活動できるように内部運営を行い、また支えている委員会です。そして、今年度は、感染症対策等を踏まえた会議手法を確立するために、調査し、話し合い検討しています。



広報委員会

広報委員会は、下関YEGの活動内容及び魅力を内外に発信しています。具体的には、①硯海の制作、②会議所NEWSへの執筆・投稿、③ホームページ及びSNSの管理・更新、④新入会員の募集及びそれに付随する企画の立案などを行っています。

また、今年度は16名もの卒会者がいる年度であり、新入会員の増強は喫緊の課題となっています。今年度内に新入会員の募集の企画を立案・実行し、少なくとも来年度へ引継ぎし、新入会員の増強に努める所存です。



会員交流委員会

会員交流委員会としてメインで取り組んでいることは、毎月の例会の運営及び進行です。今年度の例会は前年度と比べ、Zoomでの開催率が高く、運営や進行に手間取ってしまうこともありますが、滞りなく進行できるように務めています。

その他活動としては、昨年度からの新型コロナウイルス感染防止のため、リアルでの対面ができないことをきっかけに開始された会員情報を発信する「YEGプレス」のマニュアル化を早急に進めています。また、昨年はコロナの影響で実現できなかった家族親睦会の協議も行っております。



会員研修委員会

令和3年度前期は3名が入会しました。青年部の基本知識の習得や事業への積極的参加の促進、そして先輩会員・OB会・女性会との交流を目指し、委員長・副委員長合わせて5名で日々活動しております。

3分間スピーチはZoomでの実施ではございましたが、当初の例会開催よりも1か月延期し多く練習が出来たため、3名とも時間通りにしっかり自己紹介が出来ました。

今の状況下、リアルでの懇親会の実施が難しい中で、先輩会員と新入会員と顔を合わせコミュニケーションがとれるよう室ごとでZoomによる懇親会を4回開催しました。また青年部OB会を知り青年経済人として気概や情熱を学ぶ目的で松尾OB会会長を講師としての公開委員会を開催する予定です。



広域連携委員会

新型コロナウイルス感染防止のため、済州商工会議所青年部会との対面での交流ができないなかで、20年以上続く交流を絶やさないように、記念品贈呈等、非対面での交流をできないか検討しています。

また、当委員会が担当する3月担当例会についても、新型コロナウイルスの情勢がどのようなものになろうとも、現役会員にとって学びのある、そして16名の卒会者にとって思い出に残る最後の花道を飾ってもらえるよう、検討しています。



下関創生委員会

当委員会は今年度設立された委員会です。下関の人口流出が加速する昨今、会員企業がより魅力ある企業となり、雇用創出による地域経済の強化を行いたく当委員会は活動を行っています。具体的には、求職者の動向や思考の調査・研究を行っており、この結果を踏まえた例会を10月に開催する予定です。

当委員会の1年間の活動は一朝一夕で結果が出るものではありませんが、下関の将来に少しでも貢献できるよう、委員会メンバー一丸となって委員会活動に取り組んでいます。



経営委員会

令和3年度経営委員会では、「経営者としての資質向上」及び「会員企業の維持・発展」を活動方針とし、委員会活動を行っています。

直近では、担当例会である8月例会の開催に向かって着々と準備を進めていたところですが、新型コロナウイルスの影響を考慮し、8月例会は延期となりました。

この例会は、「クラウドファンディング」をテーマに、資金調達の方法と経営戦略を学ぶことを目的として企画しています。例会の準備を進める過程において、委員会メンバー自身も新たな知識や成功者の体験に触れ、大変学びのある日々を過ごしています。

コロナ禍によりリモートでの委員会開催など活動を制限されることもありますが、毎回活発な意見交換がなされ楽しくも刺激的な委員会となっており、有意義な活動を行っています。



地域活性化委員会

地域活性化委員会は、しものせき海峡まつり「源平まつり」の企画・運営をメイン事業とし、運営しております。

しものせき海峡まつりは昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、神事を除いて、現地での通常開催は見送られました。

今年度は、内容を大幅に変更し来年以降のまつりの開催に繋がるものとし、まつりの魅力や歴史文化を伝える映像配信やパネル展示、甲冑衣装等の展示を行いました。

源平まつり実行委員会（地域活性化委員会）も、しものせき海峡まつり実行委員会として映像制作に協力させて頂いた、【めぐる、海峡。感じるまつり。～つなぐ、しものせき海峡まつり～】の映像もアップされています。

